



息の合ったバチさばぎと元気一杯の掛け声、優勝の原動力となった小太鼓のメンバー。  
写真左から中野渡薫さん（南小・4年）、阿部笑利さん（同・5年）、中野渡龍くん（同・6年）、  
高橋知弘くん（三本木小・5年）、藤田爽佳さん（同・6年）

# 「王座奪還」

## 東小稲町内会

常に優勝候補に挙げられながら惜敗を続けた3年間。今年こそはとの思いを胸に挑む。その先に待っていたのは栄光—3年ぶり3回目の優勝を果たし、復活を印象付けた。



喜び一杯！東小稲町内会の優勝メンバー

祭り中日の9月8日、「第6回十和田囃子競演会」が市相撲場で開催され、大会を三連覇している「公園街地区町内会連合会」の四連覇達成なるか、注目が集まった。

参加した団体は17団体。この日のために夜遅くまで練習を重ねてきた。

予選は各団体、順に行われ、休み太鼓、進み太鼓、喧嘩太鼓の技量を競う。予選を勝ち抜いたのは、あけぼの、公園街、西十一番町、東小稲の4チーム。そして、準決勝では、東小稲が公園街を、あけぼのが西十一番町を下し、決勝に駒を進めた。

決勝戦。会場に集まった多くの観客がかたずを飲んで見守る中、両チームが力を振り絞り、太鼓を叩き、笛を吹き、声を上げる。

一瞬の静寂の後、審査員らが上げた旗は「赤、東小稲」。その瞬間、会場内に歓喜の声が響き渡る。抱き合い涙を流すもの、笑顔を見せるもの、今までの苦勞がむくわれた瞬間だ。「優勝できて本当にうれしい。練習しているのどうして勝てないのだろうと毎年考えた」と、話すのは東小稲町内会太鼓指導者の小笠原明広さん。「リズムや振りを正確に行う練習をし、それがうまくいけば勝てるという気持ちはあった」と、満面の笑みを浮かべる。

優勝を果たした東小稲町内会。来年は打倒！東小稲に向かってくる各団体を迎え撃たなくてはならない。「連覇を目指す」と、力強く語る小笠原さん。連覇を果たすのか、はたまた…。競演会、来年も目が離せない。



秋まつりの様子を市ホームページ「十和田市写真館」で公開しています。見てね～



一致団結。決戦を前に円陣を組み、仲間を鼓舞し、盛り立てるあけぼの祭典委員会。



「よく頑張った」。敗退し、涙を流すメンバーを優しくいたわる。



東小稲対公園街の準決勝。両者一步も譲らぬ熱戦が展開された。

広報とわだ 平成24年10月1日号 第120号  
編集発行 十和田市総務部総務課  
〒034-8615 十和田市西十二番町6番1号  
☎0176⑥6702

「広報とわだ」は再生紙を使用しています。  
「広報とわだ」バックナンバーはホームページをご覧ください。

地域の安全・安心に関する情報を配信！

### 「駒らん情報メール」

携帯電話でQRコードを読み取るか、次のメールアドレスに空メールを送信してください。

▶アドレス anzenjoho@info-towada.jp

